

## 「核兵器全面禁止のアピール」への賛同者リスト

2011年2月24日現在 (五十音順、敬称略)

### 【被爆者】

岩田 守雄 (広島) 「若し、核兵器使用という非人道的犯罪行為が実行されるなら、私たち被爆者が身体的精神的苦痛苦悩と戦いながら、放射能被害者として生きてきたこの66年間は余りにも空し過ぎる。今後の地球平和を担う若者たちに私たちのこの苦悩を決して体験させてはならないと願う。核兵器全面禁止の実現、少なくともその道筋だけは確認して逝きたいと願う。」

岩本 晋 (財団法人山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑理事長)

大石 又七 (ビキニ被爆者) 「核大国のオバマ・アメリカ大統領も核兵器が怖くなってきたようです。廃絶、頑張りましょう。」

大越 和郎 (広島県原爆被害者団体協議会事務局長)

大中 伸一 (広島県被爆二・三世の会副会長) 「被爆者の高齢化に伴い、私たち被爆二・三世が被爆体験を語りつぐ時代に入ります。がんばりたいと思います。」

奥尾 秀之 (広島県被爆二・三世の会事務局長)

金子 一士 (広島県被爆協理事長) 「『核兵器全面禁止のアピール』署名の目標を定め、草の根大運動を展開しよう。」

川本 司郎 (静岡県原水爆被害者の会会長)

木戸 季市 (日本被爆協事務局長) 「被爆者が生きているうちに一日も早い核兵器の廃絶を！」

木村緋紗子 (宮城県原爆被害者の会事務局長) 「2010年の夏、国連潘基文事務総長は被爆地で『被爆者の生きているうちに』核廃絶を実現しようと言いました。われわれ被爆者は永きにわたり先頭にたち、『ふたたび広島・長崎をくり返してはならない』と世界によびかけてきました。それが早急に実現することを望むものです。」

児玉三智子 (日本被爆協事務局長) 「1、国の内外に被爆の実相を広く伝えることが今いちだんと重要になっています。被爆者のひとりとして、力をつくしたいと思っています。1、被爆国としての国の立ち位置をはっきりさせ、世界に国として発信させること。」

小西 悟 (被爆者、東京都立大学名誉教授)

伊達みえ子 (被爆者・俳人) 「核兵器全面禁止が実現するまで私の戦後は終わりません。心より賛同し、微力を尽くします。」

田中 熙巳 (日本被爆協事務局長)

谷口 稔暉 (長崎原爆被災者協議会会長、日本被爆協代表委員)

坪井 直 (日本原水爆被害者団体協議会代表委員) 「むかし、ウランは自然界にあって一鉱石に過ぎ、人間を敵として害することはなかった。今は、コントロールのできない人間の知恵が核爆弾を生んだ。地球の生物を皆殺しにするサタンなのだ。その必殺には全人類のスクラム(団結)しかない。」

肥田舜太郎 (被爆者、医師)

伴 智 (兵庫県原爆被害者団体協議会理事長) 「僅か一個の原子爆弾が、広島・長崎の

数万～数十万の市民の生命、財産、父母、兄弟友人を根こそぎ奪ったあの悲惨の状況を被爆者を通して肝に銘じ、たとえ戦争といえども原子爆弾を武器として絶対に使用しないと、原爆を持つ国々が、こぞって誓って欲しい。」

藤井 照子（被爆者、福山市在住） 『核兵器全面禁止』。私たちは必ず世界から核兵器を無くして、無意味な戦争を二度とくり返すべきではないと強く要望します。私は16才から17才まで軍都の輸送が大事だと、女学生でありながら広島電鉄の運転手として国のためにと頑張り、駅前で被爆しました。現在は、甲状腺機能低下症で死ぬまで治療します。」

古田 光恵（広島県原爆被害者団体協議会副理事長、広島県被爆二・三世の会副会長）

森本 頌子（広島・被爆者） 「被爆者のみならず人類みんなの願い。保有国は核に頼らない平和を考えよ！」

山本 英典（日本被団協事務局次長、東友会副会長） 『アピール』を実効力のあるものとするため、国際条約の締結、国内的には『再び核戦争の惨禍がおこることのないよう』国内法の整備を求めます。」

吉岡 幸雄（広島県原爆被害者団体協議会副理事長）

渡辺 力人（広島県被団協副理事長）

#### 【自治体関係】

相川 堅治（千葉県富里市長） 「世界恒久平和と核兵器廃絶の実現を心から願います。」

秋葉 忠利（広島市長） 「新たな署名運動『核兵器全面禁止のアピール』が世界中の多く人びとの賛同を得て、本市及び平和市長会議が目指す2020年までの核兵器廃絶に向けたうねりを更に大きくする力になると確信しています。」

明智 忠直（千葉県旭市長） 「すべての国の速やかな核兵器全面禁止を求めます。」

浅和 定次（福島県大玉村長） 「世界の恒久平和は人類共通の願い。核兵器のない人権尊重の平和な世界。」

安部 省祐（大分県議会議員）

新井 寿一（長野県小海町長）

栗 貴章（石川県野々市町長）

飯森 紀元（長野県筑北村長） 「世界唯一の被爆国として、『核兵器全面禁止』の輪を広げ、その先頭に立って恒久平和を実現する取り組みを共に進めましょう。」

石井 直樹（静岡県下田市長）

石井 俊雄（千葉県長生村長）

石川 良一（東京都稲城市長）

石田 義廣（千葉県御宿町長） 「核兵器を全面的に禁止し、廃絶することに賛同します。」

石橋 寛久（愛媛県宇和島市長）

市村 良三（長野県小布施町長）

伊藤 正信（愛知県弥富市議会議員）

伊藤 勝（福島県西会津町町長）

稲垣 民夫（愛知県犬山市議会議員） 「地球上から核兵器が廃絶される事を強く願っています。」

井村 徳光（愛知県東浦町長）

上田 文雄（北海道札幌市長）  
馬路 康子（愛知県岩倉市議会議長）  
梅本 勝久（奈良県三宅町議会議長）  
遠藤 栄作（福島県鏡石町町長）  
遠藤 雄幸（福島県川内村長）  
大島 功（愛知県愛西市議会副議長）  
大田 洋（千葉県いすみ市長） 「核兵器のない世界は人類共通の願いです。皆さんと手を携えて共に行動して行きましょう。地球の未来、世界の未来の為に。」  
太田 紘熙（長野県白馬村長）  
大塚 節雄（湯川村村長）  
大西 廣長（奈良県川上村議会議長）  
大林 吉正（石川県七尾市議会議長）  
大平 巖（長野県天龍村長） 「核廃絶へ向けて共に頑張りましょう。」  
大宮 吉満（愛知県愛西市議会議長）  
大宅 宗吉（福島県南会津町長） 「核兵器のない平和な世界 戦争のない世界を祈っています。」  
大藪 三郎（愛知県扶桑町議会議長） 「ヒロシマ、ナガサキの悲劇を判って貰うことが大切。口先だけではない行動でがんばろう!!」  
岡下 守正（奈良県大淀町長）  
岡田 秀夫（埼玉県杉戸町議会議長）  
岡庭 一雄（長野県阿智村長）  
岡向 正道（奈良県大淀町議会議長） 「『核兵器のない世界』の実現にむけて、微力ながらもがんばって参ります。」  
岡本 克敏（和歌山県すさみ町議会議長）  
小川 猛（和歌山県みなべ町議会議長）  
小河原 正（埼玉県宮代町長）  
奥田 誠（和歌山県上富田町議会議長）  
奥田 貢（和歌山県北山町長） 「核兵器廃絶は世界の願いです。核兵器全面禁止に向けて頑張っていきましょう。」  
奥田 正和（広島県世羅町議会議長） 「全世界の核兵器廃絶達成の為には国の外交ももっと努力が必要です。広島・長崎発を日本発と言えるよう皆で頑張りましょう。」  
片岡 恵一（愛知県岩倉市長）  
勝山 隆之（長野県池田町長） 「ノーモア ヒロシマ、ナガサキ。地球社会から核兵器による悲惨な悲劇を廃絶しよう。」  
加藤 光章（西東京市副市長）  
金坂 昌典（千葉県大網白里町長）  
唐木 一直（長野県南箕輪村長） 「核兵器の廃絶による世界平和の実現を。」  
菅野 典雄（福島県飯館村村長） 「核兵器のない世の中を次世代へ」  
木瀬 武治（和歌山県高野町長） 「核廃絶と世界平和実現に向けご尽力頂いています事に敬意を表します。これから生まれてくる子供達の為に早急に解決すべきです。今後ますますの

ご活躍を祈念いたします。」

木下 善之（和歌山県橋本市長）

久保田三代（長野県野沢温泉村議会議員）

熊谷 重美（和歌山県日高川町議会議員）

栗原 裕康（静岡県沼津市長） 「沼津市は、昭和 62 年に核兵器廃絶平和都市宣言を行いました。本アピールの宣言の趣旨に沿う内容であることから賛同いたします。」

栗屋 徳也（長野県木祖村長） 「『核兵器のない世界』実現を願い、木曾川源流の里から賛同します。」

久留島元生（広島県海田町議会議員）

小池 和夫（長野県原村議会議員）

小池 久長（長野県富士見町議会議員） 「世界の平和を祈念します。」

小池 政臣（元静岡県三島市長）

小泉 勝（石川県志賀町長）

小出 隆道（和歌山県上富田町長）

小口 利幸（長野県塩尻市長）

小林 佐敏（長野県諏訪市議会議員） 「頑張って下さい。」

小林 正則（東京都小平市長）

小林 三郎（長野県小谷村長）

古張 允（福島県矢祭町町長）

小松 英夫（和歌山県湯浅町議会議員）

小山 茂三（愛知県武豊町議会議員）

齋藤 隆（千葉県横芝光町長）

榊原 純夫（愛知県半田市長） 「核兵器の全面禁止、廃絶を求めます。」

坂口 光治（西東京市長）

坂本 和昭（大分県九重町長） 「地球上から核兵器をなくそう。」

笹井 正隆（奈良県広陵町議会議員） 「『核兵器のない世界』の実現に向け頑張って下さい。」

佐藤 力（福島県国見町長） 「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」

椎名 千収（千葉県山武市長）

宍戸 良三（福島県小野町町長）

清水 澄（長野県原村長） 「核兵器のない世界を！！」

清水 泰（静岡県焼津市長）

清水 勇人（埼玉県さいたま市長）

下川 正剛（長野県白馬村議会議員） 「世界の平和と安全は国民の願いであります。」

下平 豊久（長野県豊丘村議会議員） 「1 日も早い『核兵器のない世界』の実現を！」

尺田 公造（広島県熊野町議会議員） 「核兵器の全面禁止は、被爆国に本として関わるべき重要な問題であり、今なお被害の続く広島・長崎から率先してこれを訴えていくことに賛同します。」

庄司 博光（埼玉県宮代町長）

白倉 充（和歌山県広川町長）

眞野 勝弘（広島県廿日市市長）

末吉 光徳（長崎県議会議長）

菅谷 昭（長野県松本市長）

杉井 弘文（広島県東広島市議会議長） 「地球上にヒロシマ・ナガサキのあの惨禍を二度と繰り返すことのないよう、世界の恒久平和のためには、核兵器と人類は共存できないことを強く訴えます。」

杉本 栄蔵（石川県中能登町長）

杵本 龍昭（奈良県下市町議会議長）

鈴木 義孝（福島県三春町町長）

関口 博（東京都国立市長）

相馬 宏行（静岡県賀茂郡河津町長） 「私たちは、すべての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。」

田上 富久（長崎市長）

田上 正男（長野県上松町長） 「地球上から核兵器の廃絶を切望します。」

高下 正則（広島県三原市議会議長） 「すべての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。」

高野 宗城（愛媛県久万高原町長）

高野 忠房（長野県麻績村長）

高野 之夫（東京都豊島区長）

高橋はるみ（北海道知事）

滝口 秀彦（広島県庄原市長）

田切 征勝（長野県高森町議会議長） 「高森町では平成 22 年 9 月に高森町平和へのかけはし条例が施行されました。世界恒久平和の実現に貢献していくために賛同致します。」

竹内 幹郎（奈良県宇陀市長） 「世界平和と安全のため、共に頑張りましょう。」

竹内 晷俊（福島県会津坂下町長）

武生 博明（大分県臼杵市議会議長）

武田 丈夫（和歌山県古座川町長）

田嶋 勝正（和歌山県串本町長） 「すべての国の政府が、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始する事を希望します。」

竜口 文昭（長野県松川町長）

田中 勝己（長野県木曾町長） 「核のない社会をつくるため賛同しています。」

谷口 正一（石川県津幡町議会議長）

玉川孫一郎（千葉県一宮町長） 「2020 年までに核兵器を廃絶しよう。」

寺島 渉（長野県飯綱町議会議長） 「21 世紀の早い時期に、地球上から核兵器の全面禁止と廃絶を実現することを強く希望しています。そのためのたたかいは大きく広がっていくことが重要です。」

寺本 眞一（和歌山県那智勝浦町長）

戸田 久晶（愛知県豊山町議会議長）

豊岡 武士（静岡県三島市長） 「核兵器を廃絶し、世界の恒久平和を築くことは、人類の共通の願いです。核兵器の廃絶と世界平和の実現のため、ともに取り組んで頂きますようお願い申し上げます。」

中島 育男（長野県南相木村長） 「皆さん方の活動に敬意を表します。人類の滅亡を招く核兵器は地球上に必要ない。」

中谷 尚敬（奈良県生駒市議会議長） 「生駒市議会といたしましても、いつまでも安心して笑顔で暮らせる平和な社会の構築を願いたします。」

長峯 誠（宮崎県都城市長）

中村 勤（広島県府中町議会議長）

中村 法道（長崎県知事）

中山 弘子（東京都新宿区長）

新美 保博（愛知県半田市議会議長）

二階堂 馨（新潟・新発田市長） 「世界のすべての国が核兵器をすみやかに廃絶し、平和な国際社会の実現に向けがんばりましょう。」

根本 崇（千葉県野田市長） 「核兵器の廃絶、恒久平和の実現については、全人類共通の課題であり、願いであると考えております。核兵器の廃絶を求める越えは世界に広がりつつありますが、『核兵器全面禁止のアピール』署名運動により更なる核廃絶の気運が高まり、核兵器の廃絶・恒久平和の実現に向けた世界の潮流を創り出していく原動力となることを願っております。」

西田 治夫（石川県野々市町議会議長）

西野 昇吾（石川県川北町議会議長）

野田 侃生（大分県国東市長） 「世界平和のために、まず核の廃絶から！」

橋本 明彦（和歌山県すさみ町長）

橋本 祐輔（大分県豊後大野市長） 「核兵器のない世界の平和と安全を実現しよう。」

花岡 利夫（長野県東御市長） 「一日も早い核兵器廃絶を希求しています。」

羽田健太郎（長野県長和町長） 「安心、安全な社会構築のため頑張りましょう。」

馬場 一彦（東京都東久留米市長）

馬場 孝允（福島県昭和村村長）

原 悟郎（長野県南箕輪村議会議長）

東 国伸（愛知県津島市議会議長）

久田 良平（石川県能登町議会議長）

久野 時男（愛知県飛島村長） 「「核兵器のない世界」の実現を！」

平岡 仁（奈良県広陵町議会議長） 「国際平和のために」

平林 明人（長野県松川村長）

深谷 公信（愛知県東浦町議会議長）

藤本 良昭（和歌山県印南町議会議長）

藤原 光一（長野県南相木村議会議長）

藤原 広徳（長野県安曇野市議会議長）

星 光祥（福島県檜枝岐村長）

前 喬（和歌山県九度山町議会議長）

松谷 成人（広島県尾道市議会議長） 「私たちはすべての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。」

松實 豊隆（奈良県十津川村議会議長） 「世界人類を代表して、核兵器全面禁止運動を酔心

されておられる日本原水協の皆様にご心より御礼申し上げます。地球人類の一員として、賛同いたします。」

牧野 雄光（広島県神石高原町長）

水井 幸雄（中能登町議会議員）

水越 勇雄（千葉県木更津市長）

水本 雄三（和歌山県白浜町長）

美野 勝男（和歌山県紀美野町議会議員）

箕浦 徹夫（愛知県稲沢市議会議員）

三保 恵一（福島県二本松市長）

三村 裕史（広島県熊野町長） 「核兵器全面禁止は、全人類共通の願いであります。とりわけて世界で唯一の被爆国であり、世界で最初の被爆地である広島県民の一人として、核兵器廃絶を強く訴えたいと思います。」

宮川 正光（長野県南木曾町長）

宮下 光晴（長野県麻績村議会議員）

村上 修（和歌山県串本町議会議員）

望月 良和（静岡県伊豆の国市長） 「私たちは、全ての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。」

初山 芳輝（愛知県武豊町長）

森 利夫（和歌山県広川町議会議員）

森 延彦（静岡県函南町長） 「函南町は、平成6年6月に書く兵器廃絶平和都市を宣言しました。人類共通の念願である世界平和を心より祈念いたします。」

森本 隆夫（和歌山県那智勝浦町議会議員）

山岡 寛次（広島県海田町長）

山崎 山洋（千葉県印西市長）

山下 和彦（愛媛伊方町長）

山本 宏一（和歌山県和歌山市議会議員）

山本 博保（静岡県清水町長） 「世界平和は、人類の願い。」

湯崎 英彦（広島県知事） 「核兵器廃絶のためには、世界各国の指導者が広島を訪れ、核兵器による破壊の現実を知り、その廃絶への決意を深めていただくことが大切です。『核兵器のない平和な世界』の実現に向けて、広島が国際平和の拠点としての役割を果たせるよう、取組みを進めて参りたいと考えています。」

湯本 悦生（長野県木島平村議会議員）

吉川 達郎（長野県豊丘村長） 「世界のすべての国々が世界平和と安全のため核兵器を廃絶しましょう。」

吉澤 弘迪（長野県生坂村議会議員）

吉田 健一（埼玉県加須市議会議員）

頼高 英雄（埼玉県蕨市長）

渡部 修（静岡県磐田市長） 「核兵器の廃絶、非核三原則の遵守、世界平和の実現を希求します。」

渡部 英敏（福島県会津美里町町長）

和多利義之（広島県府中町長） 「昨今、政権内部で非核三原則の見直しとの情勢があるが、引き続き『非核三原則』を遵守すべき。頑張ってください。」

藤 和雄（千葉県佐倉市長） 「核兵器は、人類を滅亡に導く危険性を持つ非人道的兵器です。『核兵器のない世界』の実現に向けて、佐倉市は『平和市長会議』に加盟し、平和行政を推進するとともに、千葉県内の未加盟自治体にも加盟を呼びかけました。現在、県内では全市が『平和市長会議』に加盟しております。核兵器の廃絶に向けて、全ての国の指導者が決意を示し、行動を起こすことを願っています。」

### 【芸能】

有馬 理恵（舞台女優） 「人類は必ず平和を達成できる！」

大原 穰子（方言指導） 「地球上から核のなくなる日まで『核兵器廃絶』の声をあげ続けます。」

佐々木 愛（俳優） 「核兵器廃絶は、戦争を体験した今は亡き、良心の願い、私も引き継いでいきます。」

杉 良太郎（俳優、日本ベトナム特別大使） 「1970年、広島・長崎の原爆病院を慰問いたしました。当時の悲惨な状況は今もって改善されておられません。即、政府が改善に向けた努力をしていただきたいと、熱望いたします。」

鈴木 瑞穂（俳優） 「人間存在を全否定するのが、核兵器です。」

宝田 明（俳優） 「1954年、第五福竜丸の被爆を土台にした核実験の恐ろしさを描いたのが、その年の11月に封切られた『ゴジラ』第一作でした。人間を脅かす加害者であるゴジラもまた核競争の被害者でした。昨年、シカゴのゴジラ上映会に参りましたが、米国人も今は反核の叫びを理解されて来たようです。」

滝田 栄（俳優） 「人間は愚かの象徴・核兵器を今こそなくそう！」

滝田 裕介（俳優） 「世界で唯一の被爆国である日本だからこそ『核兵器全面禁止のアピール』をリードして世界を平和に向って導きましょう！」

十朱 幸代（女優）

中原ひろみ（俳優）

松山 政路（俳優） 「核兵器は人類が造った最悪の物です。」

吉永小百合（俳優） 「核兵器のない世界を、平和な地球をみんなで実現させましょう！」

### 【作家、文学・評論】

赤瀬川 隼（作家）

岩崎 京子（児童文学者） 「私は、戦前に生まれ、戦中をばっちり過ごしました。歴史の証人として、証言していきたいと思っています。」

大浦ふみ子（作家） 「アメリカの核の傘にしがみついた日本政府は、原爆投下をもたらしたあの戦争への反省がない—としか言いようがありません。」

大江健三郎（作家、ノーベル文学賞受賞）

木村 梢（エッセイスト） 「広島・長崎のあの日を鮮明に覚えている世代として全面禁止のアピールに賛同します。」

早乙女勝元（作家） 「全面禁止はもちろんのことですが、軍縮に軍縮を、軍事力のない（憲法9条）未来へと、力強く前進してください。」

澤田 章子（文芸評論家） 「人間が地球に住み続けるために、何が最も大きな障碍かといえ  
ば、それは『核』です。世界の全ての国が核兵器を放棄したときに平和が現実のものとして  
見えてくるにちがいありません。」

瀬戸内寂聴（作家、僧侶）

永井 路子（小説家）

那須 正幹（作家） 「核兵器は現実的に使用不可能な武器であるばかりでなく、保有するだ  
けで国際的バッシングを受けますし、兵器の維持費も馬鹿になりません。こんな役立たずの  
兵器はさっさと捨ててしまいましょう。」

新船海三郎（文芸評論家）

林 京子（著述業） 「核兵器と生命の共存は不可能です。その事実は、広島・長崎の被爆  
者によって知らされましたが、生きている人・これから生きていく人類のために全面禁止を  
願います。」

平瀬 誠一（作家） 「核兵器のない世界の平和と安全をただちに達成しよう！」

吉開那津子（作家）

山崎 朋子（女性史研究者） 「何十回でも何百回でも、『全面禁止』を主張しつづけます。私  
たちは決して諦めません。」

#### 【脚本・演出】

ジェームス三木（脚本家） 「核兵器の廃絶は人類の存亡に関わる問題です。」

津上 忠（劇作・演出家）

#### 【詩人、俳句人】

浅尾 忠男（詩人） 「被爆の心で核廃絶を！」

金子 兜太（俳人）

土井 大助（詩人会議顧問） 「今年こそ核兵器全面禁止の実現を歴史に刻み込みたいもので  
す。」

#### 【哲学者】

梅原 猛（哲学者）

鶴見 俊輔（哲学者） 「日本人は二度原爆を落とされた記憶を力として、世界に対していき  
たい。そう思います。」

#### 【映画・映像】

有原 誠治（アニメーション演出家） 「核（放射線）による汚染は私たちの生存を脅かして  
います。一日も早い全面禁止しかありません。」

大澤 豊（映画監督） 「憲法 9 条を持ち、非核三原則を国是とする被爆国日本（人）なら  
ばこそ、国際社会の先頭にたって核兵器廃絶の世論を高めていかななくてはなりません。」

片桐 直樹（映画監督） 「人類の生存と安全のために一日も早い核兵器廃絶を！」

神山征二郎（映画監督） 「核兵器を使った結果がどのようなものかを私たちは肝に銘じて知  
っている。だからそれを知らない、または知ろうとしない者たちに何度でも語り続けなけれ

ばならないのです。」

小泉 洋幸（長崎県映画センター理事長） 「あきらめず、しぶとく、しなやかに、核兵器廃絶までがんばりましょう」

羽田 澄子（記録映画製作者） 「核兵器は人類が人類を滅ぼすことができる兵器です。人類は核兵器を持たない平和な世界をつくらねばと思います。」

山田 洋次（映画監督）

### 【写真家】

石川 文洋（写真家） 「一人の命はとても大切です。それなのに、大勢の人をいちどに殺す核兵器の存在を認める人は頭がどうかしていると思います。」

小松 健一（写真家、「反核写真運動」運営委員） 「地球上からすべての核兵器をなくすのは、人類の責任！」

白簾 史朗（写真家） 「今更ながら論議の必要なしと存じます。禁止に全面的に賛同のみです。」

丹下 章（写真家） 「どんな状況でも、核による攻撃は人類にとって『極悪』の行為だということを確認し合う必要があると思います。」

中村 吾郎（報道写真家）

### 【美術】

岡野 良平（画家、日本美術会会員） 「核兵器は廃絶です。抑止力なんぞとバカなことを言っている場合ではありません。世界で一つしかない原爆被害を受けた日本人として叫びます。『核兵器全面禁止』を！」

宮本 和郎（日本画家） 「人間が人間を殺す戦争、とりわけ核兵器は一刻も早くこの世から無くすよう、力を併せてゆきたいと思います。」

### 【音楽】

クミコ（歌手） 「人の手で作り出された『悪魔』は人の手で葬らねばなりません。それが人の『叡智』です。」

小林 亜星（作曲家） 「核兵器こそ人類最大の悪徳である。」

沢田 研二（歌手）

田中 信昭（音楽家）

松野 迅（ヴァイオリニスト） 「人類がつちかってきた文明・文化と核兵器は対極に在ります。平和は人権です。」

湯川れい子（音楽評論・作詞）

### 【スポーツ】

小林 秀一（プロボクシング・元日本ウェルター級チャンピオン） 「日本と世界の人々と手をむすび、核兵器のない世界を実現しましょう。」

張本 勲（プロ野球名球会） 「世界平和の為核兵器廃絶を！！」

### 【協同組合】

飛田 稔章（北海道農業協同組合中央会会長）

### 【市民団体】

梅林 宏道（NPO法人ピースデポ） 「不屈の運動の継続に敬意を表します。市民社会からの声の継続が何よりも必要です。」

清水 幸子（@広島平和文化センター評議員） 「『地球は青かった』これははじめて宇宙から地球を見た旧ソビエトの宇宙飛行士ガガーリンのことばです。その美しい地球を、人類は今破壊しようとしています。民族や宗教、文化の壁をこえて、次の世代の子ども達に平和な世界を残すことは私たち大人の責任です！」

高田 公子（新日本婦人の会会長）

中畔 都舎子（全国地域婦人団体連絡協議会会長）

日本青年団協議会 「すべての国から核兵器や戦争がなくなり、平和な21世紀を私たちの手でつくっていきましょう。」

畑田 重夫（日本平和委員会代表理事） 「『ストックホルムアピール』署名、いわゆる『アピール署名』など、戦後何回かとりくんだ経験があり、思い出もありますが、今度こそ、反核平和を望む人々による決定打的な署名運動にしたいものですね。戦争体験者の一人として、今度もまた全力をつくしてこの署名運動の成功のために奮闘したいと決意を新たにしています。」

広瀬 方人（「長崎証言の会」代表委員） 「65年前、人類史上初めて核兵器による惨禍から生き残った被爆者は、広島・長崎にだけしかいなかった。敗戦に続く米国による占領とその政策に追随した日本政府によって被爆者無視の年月が12年も続いた。ビキニ水爆実験を契機にした原水爆反対運動の中で、ヒバクシャは『このような兵器は世界のどこであろうと2度と使われてはいけない兵器だ』と訴え、ヒロシマ・ナガサキの体験を人類共通の体験にすることを願って運動を続けてきた。65年を経た今、その願いはもう誰も押しつぶすことの出来ないうねりとなって世界中に広がっている。私たちは、このうねりを更に広げ、核兵器禁止の実現を目指したい。」

守谷 武子（日本婦人団体連合会顧問） 「66年を経ても、被爆者は苦しみつづけています。核兵器全面禁止の世論は全世界に広がってきています。新たな署名運動を一層盛りあげましょう。」

湯浅 一郎（ピースデポ代表） 「北東アジアの非核兵器地帯化を通じて、『核兵器のない世界』への動きを加速させましょう！」

### 【労働組合】

大黒 作治（全国労働組合総連合議長）

### 【ジャーナリスト】

斉藤 貴男（ジャーナリスト） 「核兵器は絶対的な悪です。全面禁止以外の道はありません。」

長谷川千秋（元朝日新聞大阪本社編集局長）

平岡 敬（広島マスコミ9条の会代表） 「スコットランドの原潜母港化反対闘争や、フィリピンの『非核兵器法』成立など市民運動が自国政府を動かす運動が重要です。日本の場合、日米安保体制脱却の努力なくして、核兵器廃絶の訴えは力を持ちません。」

前田 哲男（ジャーナリスト） 「くずれぬへいわを へいわをかえせ そのために署名運動で人間の抑止力を。」

#### 【資料館・文学館】

三浦 光世（三浦綾子記念文学館館長） 「旧約聖書イザヤ書第2章4節には『彼らはそのつるぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかって、つるぎをあげず、彼らはもはや戦いのことを学ばない』と記されています。この日の到来を祈ってやみません。」

渡辺 武（元大阪城天守閣館長） 「現核保有国及び保有を求めているすべての国家とその国民が、核兵器全面禁止・廃棄こそ最大の平和・安全獲得のための“抑止力”であると考えよう変えていく大きな力を私たちの署名運動が持っていることを信じて。」

#### 【学 術】

新井 献（東京大学名誉教授）

安斎 育郎（立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長） 「古稀になっても安全な未来は欲しい。古稀老は孫の世代の安全を心より希い、行動する。」

石井 潔（静岡大学理事・副学長）

石川 康宏（神戸女学院大学教授） 「日本政府はアメリカの『核の傘』から抜け出して、核兵器のない世界に向けた外交努力を行なうべきです。核兵器全面禁止の圧倒的な世論をつくりましょう。」

伊東 幸宏（静岡大学学長）

石丸 紀興（広島国際大学教授） 「よい力が結集できるとよいですね。」

磯貝 英夫（広島大学・ノートルダム清心女子大学名誉教授） 「世界にようやく核禁の機運が生まれようとしている時期です。ぜひ頑張りましょう。」

一海 知義（神戸大学名誉教授） 「世界的規模で運動が前進することを期待しています。」

井上 英夫（金沢大学教授 「NO NUKES, NO WAR, FUND HUMAN NEEDS!」

入谷 貴夫（宮崎大学教育文化学部教授）

岩井 忠熊（日本史研究者、立命館大学名誉教授） 「核兵器全面禁止はけっして『悲願』ではなく、実現可能な目標です。」

岩波 一寛（中央大学名誉教授） 「外交交渉を有利に進めるために核開発を利用するような動きも出てきており、核兵器禁止を世界的規模で拡大させる必要は益々重要性を増しています。この運動がさらに輪をひろげますように。」

梅原 英治（大阪経済大学教授） 「広島・長崎の悲劇をくり返さないため、『核兵器のない世界』を実現しよう！ すべての国の政府は、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を始めてください。」

遠藤 宏一（南山大学教授）

大島 和夫（京都府立大学教授） 「NPT合意の実施、CTBTの発効を目指し、核兵器廃

絶に向けての運動を国民全体の運動に広げて、進めていきたいと思います。」

大槻 和夫（広島大学名誉教授） 「核抑止力論の打破こそ、今最も重要ではないかと思えます。核兵器全面禁止への世界の世論の高まりを期待します。」

大森 正信（広島大学名誉教授） 「核兵器廃絶の世論を強め、日本の政府に核の傘からの離脱を要求したいと思います。」

岡田 章宏（大学教員）

岡田 正（山口・元早鞆高等学校校長）

岡田 知弘（京都大学教授） 「核兵器も基地もない社会を一日も早く実現したいものです。」

岡田 正則（早稲田大学教授） 「核兵器全面禁止から現実的な核兵器廃絶へ、行動を広げてゆきましょう（劣化ウラン弾の禁止・廃絶も）。」

岡本 三夫（広島修道大学名誉教授、元日本平和学会会長）

奥平 康弘（憲法研究会）

奥村 宏（会社学研究者）

小越洋之助（労働経済代表理事）

小沢 隆一（東京慈恵会医科大学教授） 「世界の動向、国内の様子を勘案すると、時宜にかなったとりくみと思えます。核廃絶の世論の広がり期待します。」

角橋 徹也（大学教員・教授）

垣内 国光（明星大学教授） 「核抑止力の行使のための核兵器保持・拡散こそ平和の脅威です。ともにがんばりましょう。」

加藤 一夫（静岡大学名誉教授）

金持 徹（神戸大学名誉教授）

唐鎌 直義（社会保障研究者） 「貧困と戦争のない世界を次の世代の人びとに。」

川合 清隆（甲南大学名誉教授）

川上 則道（都留文科大学名誉教授） 「時宜にかなった署名運動だと思います。」

川瀬 光義（京都府立大学教授）

君島 和彦（歴史学者、東京学芸大学教授）

木村 初男（名古屋大学名誉教授）

木村 朗（鹿児島大学教授） 「新たな核戦争の危機が迫っている今こそ、原爆神話と核抑止論を克服して核廃絶を実現しなければなりません。ともに闘いましょう。」

銀林 浩（明治大学名誉教授）

公文 昭夫（社会保障評論家） 「『核拡散』イクオール『戦争』は絶対ゆるせません。今こそ、あらためて『バターか核か』が迫られています。世界の永遠の平和のために『核兵器全面禁止』を全世界へ」

児島美都子（日本福祉大学名誉教授）

小沼 通二（慶應義塾大学名誉教授、世界平和アピール7人委員会委員）

小村 幸友（広島大学名誉教授）

佐藤 嘉夫（岩手県立大学教授）

佐中 忠司（広島大学名誉教授）

沢田 昭二（名古屋大学名誉教授、被爆者） 「被爆の実相を伝えて核抑止力論と核の傘依存から離脱させて核兵器禁止条約交渉を開始させましょう。」

澤野 重男（広島・退職教員） 「核兵器のない世界を子どもたちに贈りたい！」

塩見 昇（大阪教育大学名誉教授） 「この目標の実現のためには、核保有国が人類の課題として積極的に行動で示すことが不可欠です。」

宍戸 健夫（愛知県立大学名誉教授）

設楽 惣助（大学非常勤講師）

白藤 博行（専修大学教授） 「広島・長崎を経験した私たちは、人間の身も心も潰滅させる核兵器の全廃を実現する責務があると思います。」

末田 秀熙（広島）

田中 重博（茨城大学副学長） 「核兵器全面禁止は日本国民と人類の悲願であり、早急に実現しなければならない課題であると思います。」

柘植 新（名古屋大学名誉教授） 「今こそ核兵器廃絶を実現するために、あらゆる力を結集しましょう。」

冨田 宏治（関西学院大学法学部教授） 「核抑止力論の幻想をいまこそうちやぶりましょう。」

鳥居 達生（名古屋大学名誉教授）

富山 和子（評論家） 「だれもこわくてボタンを押せない。そんなものをなぜ造るのか。もう、いい加減に止めさせよ。」

中須賀徳行（岐阜大学名誉教授）

中西新太郎（横浜市立大学教授）

永山 利和（大学教員） 「世界情勢が大きく変化しています。とくに東アジアばかりか、中近東、アフリカにも変化が広がっています。核兵器の全面禁止にむけた行動が新しい歴史的意味をもってきています。運動の発展を願っています。」

新倉 修（青山学院大学教授） 「1950年ストックホルム平和アピールは核兵器の使用が人道に対する犯罪であることを宣言し、3億筆の署名を集めました。ヒロシマ・ナガサキの惨劇から5年目に示された『良心の声』を今こそ生かしましょう。」

新原 昭治（国際問題研究者） 「ブッシュ政権末期の日米核協議の内実を語る米秘密電報を読んで、日本国民の核兵器廃絶の熱い気持ちのために日米安保を傷つけさせてはならないとの日本大使の赤裸々な言明を知り、驚くとともに怒りが込み上げました。こうした被爆国日本の政府の対米いいなり外交が核兵器廃絶への前進を不当にも阻んでいます。いまこそ日本から始めて、最悪の大量殺戮平気・核兵器の全面禁止に向け核兵器禁止条約を現実に生み出す交渉を求める一大世論を起こさなければと痛感します。新しい核兵器全面禁止の署名運動を心から支持します。」

丹生 潔（名古屋大学名誉教授）

野口 邦和（日本大学教員・専任講師） 「小さな亀裂でも、ひとたび生ずると、穴の開いた堤防のごとく決壊するといいます。核保有国首脳を支配している核抑止論も同様でしょう。その不当性・非人道性を暴き亀裂を入れることができれば、すさまじい勢いで壊れるでしょう。この署名はそのための最良の道具になると確信しています。」

野田 正彰（関西学院大学教授）

服部 学（立教大学名誉教授）

晴山 一穂（専修大学教授）

平田 康（京都橘大学名誉教授） 「いろんな面で世界が大きく変わろうとしている現在、

最大の悪である核兵器をなんとしても禁止しなければなりません。」

広原 盛明（京都府立大学元学長）

深瀬 忠一（北海道大学名誉教授） 「平和憲法が保障する全世界の国民の平和的生存権をひとしく確保・尊重すべきである。」

福地 保馬（北海道大学名誉教授、核戦争に反対する北海道医師・歯科医師の会会長） 「新たな『核兵器全面禁止』署名の発展のために力を合わせましょう。」

藤岡 惇（立命館大学教授） 「『アラジンの魔法のランプ』という寓話そのままにアラジン＝米国の支配者たちも巨大に成長した魔物に恐怖し出しました。魔物をランプにおさめさせるよう共同行動をおこしましょう。」

風呂本武敏（非核の成功を求める兵庫の会代表世話人、元神戸大学教授） 「ゆるやかで見えにくい一人の署名も、核兵器全面禁止の国連決議賛成国を着実にふやしています。心新たに取り組みを始めましょう。」

星埜 惇（福島大学名誉教授） 「新たな署名が広く世界に拡大し、核廃絶への動きをさらに確実なものとするのを期待しております。」

保母 武彦（島根大学名誉教授） 「核保有が戦争の抑止力となるとする論理を捨てない限り、戦争はなくなりません。世界の平和と安全のために、核兵器の全面禁止を求める声を世界中に広めましょう。」

前野 育三（関西学院大学名誉教授） 「新たな被爆者を作らないために、今こそ核兵器の全面禁止を実現したいものです。」

益川 敏英（名古屋大学特別教授、ノーベル物理学賞受賞） 「核兵器全面禁止のみでなく、戦争の無い世界をめざしましょう。」

増山 博行（山口大学教授）

溝川 悠介（大阪府立大学名誉教授、奈良県原水協代表委員）

三井 斌友（名古屋大学名誉教授） 「21世紀の早い時期に核兵器廃絶を実現することは私たちひとりひとりの課題であり、その力で達成できると信じています。」

三橋良士明（静岡大学名誉教授） 「核兵器の廃絶なくして、平和なし。平和の声を地域から、そして世界に広げましょう。」

峰岸 純夫（東京都立大学名誉教授） 「核兵器を持っている国が、持っていない国につくるなどと言っても説得力はない。全面禁止以外に方途はない。」

宮入 興一（愛知大学教授） 「世界の指導者が広島・長崎を訪れ、被爆の実相を知って欲しいと思います。」

宮崎 繁樹（明治大学名誉教授） 「核兵器の廃絶は、大多数の国民の願いであると思いますので、アピールが派閥、党派にかたよらない様に十分考慮してお進めになる様心からお願い致します。」

宮崎 礼子（日本女子大学名誉教授）

三輪 定宣（千葉大学名誉教授） 「『平和のうちに生存する権利』（日本国憲法前文）の確立のため先導的運動を強めましょう。」

村山 祐一（帝京大学文学部教授） 「核兵器の廃絶を求める声を、世論を日本中に、世界にもっともっとひろげていきましょう」

森 靖雄（愛知東邦大学 地域創造研究所顧問） 「一日も早く全世界から核兵器を廃絶さ

せましよう。日本からは直ちに撤去させましよう。」

森川 恭巖（短大元学長） 「我が日本国は、非核三原則を守り、核の傘を返上することが課題。政府に要求しよう。」

矢ヶ崎克馬（琉球大学名誉教授） 「戦後 66 年経った今なお、放射能の埃が体内に入ったことによる『内部被曝』は核兵器推進勢力により隠され続けています。認定された被爆者をはるかに超える被害者が未だに認知されずに苦しんでいます。核兵器の被害の実相を明らかにしつつすることは、今益々重要な核兵器廃絶運動の一部となっています。被爆の実相は核兵器を抑止力と考えることなど絶対に許されないことを示しています。」

山家悠起夫（暮らしと経済研究室） 「核廃絶へ政府を動かすのは市民の力です。」

吉田 敬一（駒澤大学教授） 「平和は人間の幸せの原点。核兵器は破壊のシンボル。全面禁止は人類の持続的可能性の不可欠な要因。」

和田 進（神戸大学教授） 「核兵器廃絶の取り組みの世界的高揚の下で、軍縮、平和的生存権の国際的確立の基盤を！」

### 【宗教界】

青木 敬介（はりま宗教者平和の会代表、真宗西念寺前住職） 「被爆者が生きているうちに核兵器も（原発も）ない世界を実現しようとのよびかけに賛同します。」

有田 恵宗（財団法人全日本仏教会理事長）

石田 良正（大輪院住職、日蓮聖人門下・京都立正平和の会理事長） 「一切衆生（一切の生きとし生けるもの）と共存できない、破壊のみをもたらす『核兵器』は廃絶するしかありません。」

大原 光夫（僧侶）

奥田 靖二（浅川金比羅神社宮司） 「核兵器廃絶は人類共通の願いです。人間がつくりだしたものは人間の手で無くすことは可能です。世論を何倍にも広げて必ず武器なき地球実現を！」

小野 和典（静岡・真宗大谷派） 「すぐ隣の人から声をかけましよう。「抑止」ではなく完全廃絶を！！」

木津 博充（日本山妙法寺） 「昨年 5 月、国連の N P T で合意した『核兵器のない世界の平和と安全を達成する』ために、今こそ全ての国で迅速なる実行を。非暴力・不殺生の道を立てなければ人類の真の安穩繁栄は無い。合唱」

木村 宏嗣（禅龍寺住職、山形県宗教者平和協議会会長） 「『内なる心の平和と外なる世界の平和』を統一的に把握し、『核兵器全面禁止のアピール』に賛同するとともに、協力共同して運動を推進したいと思っています。」

工藤 良任（奈良・般若寺住職）

河野 太通（財団法人全日本仏教会会長）

小柴 正巳（奈良宗教者平和協議会理事）

小山 弘泉（浄土真宗本願寺派僧侶） 「核兵器のない世界」の実現の為に運動を前進させましよう。

澤井 春光（東京・キリスト者）

武田 隆雄（日本山妙法寺僧侶） 「いのちの尊さを守る運動に敬意を表します。連帯してが

んばりましょう。合掌」

立川 秀道（僧侶、浄土真宗本願寺派法隆寺住職） 「『風化』していく核のおそろしさを、もっと広く伝えていくことが大切であり、今求められていると思います。」

中村 雄介（天理教鮎雄布教所長） 「核兵器の何と無駄な事か。持っていけば力を誇示できると思っているのでしょうか。また、いつか使用できると思っているのでしょうか。オバマにノーベル平和賞を返してもらいましょう。」

滑川 静夫（関東キリスト者平和の会代表） 「地球から核兵器をなくしましょう。そのために私も頑張ります。」

林 辰也（広島YMCA名誉主事）

林 正道（真宗大谷派安養寺住職） 「核兵器の廃絶は、『国富民安』『兵戈無用』と共通の願いです。」

平山 武秀（日本基督教団牧師） 「核兵器全面廃絶は人類にとって緊急の課題です。議論はあとにして今即刻に具体的な行動に移りましょう。」

藤井 聖仁（奈良・浄土真宗本願寺派明光寺住職） 「私どもの世代で必ず核廃絶を！」

松田 義賢（天台宗西光寺前住職） 「核兵器の全面的廃絶と戦争のない世界を強く求めます。」

鞠川 綽（真宗大谷派住職） 「被爆者存命中の『核兵器廃絶』の悲願の成就を祈ります。」

三玉 宜晃（三重・僧侶） 「核兵器廃絶を呼びかけるためには、日本政府の姿勢を変えさせなければなりません。日本政府が、国連などの場でやっていることの実態を広く知らせましょう。」

水田 全一（臨済宗妙心寺派龍澤寺住職） 「イギリスBBC放送の被爆者を笑いの対象にした事件でも示されたように、核兵器の罪悪に対する認識はまだまだ不十分です。すべての国の政府が核兵器禁止条約の交渉に本腰を入れることが大切です。新しい署名運動に全面的に賛同します。」

三宅 善昭（浄土真宗法林寺前住職） 「これ以上『ヒバクシャ』を作り出さない為に、核兵器のない世界の来る事が、期限を切って約束される様、皆様と共に一層の努力をしたいと思えます。それにしても未だに核抑止にしがみつくわが国政府には怒りさえ感じます。」

宮崎 快堯（奈良・日揮寺住職）

無着 成恭（僧侶・住職） 「国とか民族とか宗教とかちがう人々が武力で争うことをやめる世界をつくりだすことはできないのでしょうか？」

矢野 太一（天理教よりこび布教所） 「今年74才になりますが、まだ74才です。子や孫の世代に核兵器も戦争も無い平和な世界を残すために生命のある限りがんばりたいと思えます。」

吉川 清明（奈良・浄土宗本願寺派僧侶）

吉本 眞澄（奈良・浄土真宗本願寺派善行寺住職）

森 修覚（真宗大谷派僧侶、日本宗平協事務局長） 「核兵器全面禁止の実現を。世論と運動を大きく広げよう」

山名 広隆（東京・僧侶）

#### 【医師】

青木 克明（広島・医師）

青山 哲也（奈良反核医師の会代表世話人）

岩倉 政城（新日本医師会会長） 「地球レベルの飢餓をよそに財を費やす核の脅しより、分け合い、解りあう人間の営みを」

大川 浩正（愛知県保険医協会監事） 「世界中に憲法 9 条を広めたい。殺人の道具に全てを使わずに、救命のために使ってもらいたい。」

大橋 晃（勤医協中央病院名誉院長） 「NPT再検討議会などでようやく見えてきた核廃絶への道のりを、今こそはっきりとした道筋として示すときです。」

河原田和夫（医師、新日本医師協会副会長） 「核兵器なくし、地球上から争いごとを無くしましょう。」

聞間 元（静岡県保険医協会理事長）

合田 泰幸（兵庫県民主医療機関連合会会長）

児嶋 徹（医師、全国「反核医師の会」代表世話人）

鮫島 千秋（全国保険医団体連合会元会長・顧問） 「オバマ賛美は、むしろ核戦争への道を歩むことになることを、もうそろそろアピールすべき時がきています。」

清水 達夫（広島・医師）

住江 憲勇（全国保険医団体連合会会長） 「昨年のNPT再検討会議での最終文書の合意を全世界での具現化のためにも署名運動『アピール』に全面的に支持・協力させていただきます。一日でも早い核兵器全面禁止は、人類に喫緊の課題です。」

坪井 裕志（奈良県保険医協会理事長、奈良反核医師の会代表世話人）

土肥 定（医師、尼崎市立花町 9 条を守る会代表世話人） 「同年でありました私のいところは、長崎医大の学生で原爆で死亡しています。」

朝長万左男（核兵器地球市民長崎集会実行委員長） 「今年こそ『核兵器禁止条約』の多国間交渉のスタートの年にしよう！」

西原 一樹（広島医療生協沼田診療所長）

長谷 憲（広島・長谷医院院長）

原 和人（石川勤労者医療協会理事長） 「今までにない幅広い運動が必要と思います。『核兵器禁止条約の交渉の開始』この一点での共同の運動を広げましょう。」

日野原重明（医師、聖路加病院理事長）

藤末 衛（全日本民主医療機関連合会会長）

藤原 秀文（広島・福島生協内科クリニック）

本田 宏（埼玉県済生会栗橋病院副院長） 「子どもや孫の世代により良い社会をバトンタッチしたい」

峯 克彰（奈良反核医師の会代表世話人）

室生 昇（総合病院南生協病院名誉院長） 「一刻も早く『核兵器が全面禁止』されることを願っています。」

#### 【法 律】

渥美 玲子（愛知・弁護士）

井上 明彦（広島・弁護士）

井上 正信（広島・弁護士）

内山 新吾（山口・弁護士）

大久保賢一（弁護士、日本反核法律家協会事務局長） 「非核三原則の法制化についても取り組みを強めましょう！」

尾林 芳匡（弁護士、八王子合同法律事務所） 「世界でますます核廃絶の世論が広がるよう力をつくしましょう。」

加藤洪一郎（愛知・弁護士）

小部 正治（弁護士、自由法曹団幹事長） 「核兵器廃絶に期限を定めて本格的に取り組みましょう。」

四位 直毅（弁護士、全国革新懇代表世話人） 「核兵器廃絶は、人類存続のため不可欠の課題です。核兵器をつくるのも、なくすのも、私たち人間だけができることです。核兵器廃絶に向けての歴史的な好機が今、新署名成功のため、悔いなく全力をつくしましょう。」

城塚 健之（大阪・弁護士） 「核兵器廃絶は人類にとって焦眉の課題です。今こそ、アメリカ、ロシアをはじめ、すべての国が人類の未来に責任をもった態度をとるべきです。」

高村 是懿（広島・弁護士） 「恐怖もとの平和はありません。恐怖から免れこそその平和です。」

内藤 功（弁護士、日本平和委員会代表理事）

内藤 雅義（東京・弁護士） 「差別される可能性さえあるのに、語るのがつらい体験を亡くなられた人に代わって語り、核兵器の廃絶を訴え続けてきた被爆者の方がたのために被爆者が生きているうちに核兵器廃絶を実現することが私たち被爆国に住む人間の責任だと思います。」

中村 照美（沖縄・弁護士） 「核廃絶は人類と生物生存の為に実現しなければならないことです。」

藤原 精吾（弁護士）

船尾 徹（東京・弁護士）

松岡 正章（弁護士、甲南大学名誉教授） 「全人類の課題として『核兵器のない世界』の達成に向けて連帯しよう。」

溝手 康史（広島・弁護士）

#### 【都道府県、労働・民主】

相場未来子（新日本婦人の会秋田県本部事務局長）

赤木 信久（秋田県革新懇代表世話人）

秋元 敏（民青能代班秋田県委員）

明石 喜進（秋田県革新懇代表世話人）

浅野 貞助（全日本年金者組合秋田県本部能代山本支部副委員長）

網本えり子（広島・廿日市市） 「命を阻むものに正義はない。それは全て悪。核兵器の存在にどんな言い訳も無い。意志を持って核兵器廃絶を進めよう！」

石川 秀子（広島市・元保育園園長）

石川ふみ子（新日本婦人の会男鹿支部支部長）

泉 侃子（新日本婦人の会大館支部支部長）

板谷 義彦（奈良県労働組合共済会専務理事）

伊藤 千作（日本共産党山本地区委員会地区委員長）  
井ノ尾寛利（奈良県労働組合連合会議長）  
今村 啓子（長崎・合唱指揮者） 「絶対的理性等持ちあわせない私たち人間は絶対的兵器である『核兵器』は持つべきでないと思います。」  
宇野 豪（広島）  
近江谷エイ（新日本婦人の会秋田県本部代表委員）  
近江谷昭二郎（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部副会長・秋田県本部長）  
大沢 則子（北秋田生活と健康を守る会事務局）  
大塚 久司（秋田県高等学校教職員組合書記長）  
大塚義千代（三種町生活と健康を守る会会長）  
大山 正明（日本共産党地区委員）  
小川 絢子（新日本婦人の会秋田県本部代表委員）  
奥井 淳二（日本共産党秋田県地区委員会委員長）  
小山 春雄（秋田県原爆被害者団体協議会会長）  
加賀 繁（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟能代山本支部事務局）  
柏谷 武志（秋田医療福祉労働組合執行委員長）  
金子 貞子（八滝支部副支部長）  
金子 秀典（広島市職労中央執行委員長） 「被爆者の生きているうちに核兵器のない世界実現のために、世界中の声をあつめましょう。」  
金子富美清（八滝支部）  
菊地 時子（日本共産党市会議員）  
工藤 隆康（能代市革新懇事務局長、AALA 能代山本支部事務局長）  
工藤 牧子（新日本婦人の会能代支部事務局）  
樽松 佐一（愛知県労働組合総連合議長）  
黒井 宏樹（奈良・社会福祉法人秋篠茜会労働組合副委員長）  
古賀 哲夫（兵庫県勤労者学習協議会名誉会長） 「署名にはいつも私の全歴史をこめてペンをとります。背中に、千の風になった被爆者の声を感じながら。ご健闘を念じつつ。」  
児玉栄美子（秋田県）  
児玉 金友（秋田県革新懇代表世話人）  
児玉 鎌吉（能代原水協）  
小玉 正憲（秋田県商工団体連合会会長）  
小林 幸一（日本共産党藤里町議）  
小林 秀彦（能代山本農民連会長）  
小林 泰夫（非核の政府を求める秋田県民の会代表・日本国民救援会秋田県本部長）  
小林 幸一（日本共産党藤里町議）  
斎藤 重一（原水爆禁止秋田県協議会理事長）  
斎藤 大悟（日本民主青年同盟秋田県委員会委員長）  
坂田 一仁（奈良民主商工会）  
桜井 和春（全日本国立医療労働組合広島地区協議会議長） 「核兵器禁止にむけて日本国中に、そして世界に大きく発信する署名に賛同し、共に頑張りたいと思います。」

佐々木 章（秋田県労働組合総連合議長）  
佐々木兵嗣（三種町生活と健康を守る会事務局長）  
佐竹 良夫（医療福祉関連一般労働組合執行委員長）  
佐藤勝太郎（秋田県）  
佐藤 絹子（日本婦人の会大曲支部支部長）  
佐藤 力美（秋田県原爆被害者団体協議会事務局長）  
沢田 博（日本共産党奈良県委員長） 「核兵器の廃絶へ、力と心をあわせましょう。」  
塩谷 啓一（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟能代山本支部支部代表）  
重光 恵美（看護師、広島赤十字・原爆病院労働組合執行委員長） 「『核兵器のない世界』を  
実現しよう。」  
柴田 アツ（新日本婦人の会羽後支部支部長）  
白川 嘉秀（奈良市五条西2丁目第1自治会会長）  
鈴木 政隆（秋田県革新懇代表世話人）  
鈴木 甚郎（原水爆禁止湯沢協議会事務局長）  
鈴政 貴行（日本検数労働組合中国支部執行委員） 「皆様の日々の活動に敬意を表します。  
我々も微力ながらお力添えが出来れば幸いです。頑張ってください。」  
高橋 信（愛知県平和委員会理事長）  
高橋フキ子（新日本婦人の会湯沢支部事務局長）  
高橋 泰子（新日本婦人の会横手支部支部長）  
高橋 良栄（能代山本原水協代表）  
高林 弘（長崎・自営業）  
竹末 和美（奈良県労働組合連合会事務局長）  
田中千賀子（新日本婦人の会奈良県本部長）  
田辺 実（治安維持法国家賠償要求同盟奈良県本部） 「核にしがみつく勢力を孤立させ、  
全面禁止を実現させよう。」  
塚本 茂男（能代市平和委員会事務局長）  
辻 恒雄（日本共産党広島県議会議員） 「核兵器廃絶にむけて力を尽くします。核も基地  
もない平和な日本へともがんばりましょう。」  
長岡 節子（新日本婦人の会能代支部支部長）  
中田 和彦（長崎県学童保育連絡協議会会長） 「核兵器のない世界を子どもたちに手渡し、  
平和を希求することは、原爆の惨禍を受けた国民の責務です。未来に生きる子どもたちのた  
めにも、この署名運動が燎原の火のように広がることを願います。」  
中田 宗子（秋田県）  
中谷 広夫（自交総連広島地本執行委員長） 「NPTの力を全世界に届けるため新署名、と  
もに奮闘しましょう。」  
中村 秀也（秋田県医療労働組合連合会執行委員長）  
奈良由美子（新日本婦人の会秋田支部支部長）  
成田 洋子（新日本婦人の会秋田鹿角支部事務局長）  
長谷川隆士（奈良自治体労働組合総連合執行委員長）  
林 紀子（新日本婦人の会広島県本部長） 「昨年のNPT再検討会議では、私たちNG

〇の運動が核兵器廃絶にむかって世界を動かしたことを実感しました。『被爆者の生きていくうちに核兵器のない世界を実現する』ため、さらにながらみます。」

藤井 栄一（広島地域労働組合総連合議長）

藤垣 全弘（全日本年金者組合奈良県本部委員長）

藤田 和久（日本共産党仙北地区委員会地区委員長）

藤田 佳代（兵庫・モダンダンス研究所主宰） 「『戦争をしません』と全地球の人びとが思えるようなしっかりした呪文・おまじないはないのでしょうか。ごいっしょに考えたいと思います。」

藤原 良夫（日本共産党）

船越 康亘（全大阪借地借家人組合連合会会長）

松本 匡（秋田県生活と健康を守る会会長）

三浦 深雪（新日本婦人の会能代支部常任委員）

見上 浩（八峰守る会会長）

宮腰 和生（能代市平和委員会事務局次長）

森 信雄（奈良・JMIU東邦工機支部執行委員長）

山内 満（秋田県革新懇筆頭代表世話人）

山本 和宏（千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長）

横山 新（奈良革新懇事務局長） 「核兵器全面禁止アピールに賛同します。」

米田 吉正（日本共産党秋田県委員会委員長）

若木由紀夫（秋田県高等学校教職員組合執行委員長）

渡部 雅子（全日本年金者組合秋田県本部執行委員長）